

令和 4 年度
事 業 計 画

公益社団法人 全国競輪施行者協議会

事 業 方 針

令和3年度の車券売上高は、新型コロナウイルス感染症による影響があったものの、インターネット投票売上が増加し、前年同期比130.4%（令和4月1月末現在）と平成26年度から8年連続で前年度を上回っている。

新型コロナウイルス感染症の先行きは不透明ではあるが、引き続き感染症対策に全力を尽くすとともに、令和3年3月に競輪最高会議において決定した中期基本方針の下、令和8年度における売上1兆円及び施行者収益230億円の達成を目指す。

令和4年度は、中期基本方針を踏まえ、以下の事項について重点的に取り組む。

◆ 新法人の設立

映像管理、広報、投票、システムを一元的に取り扱う法人を新たに設立し、競輪の価値の向上、施行者収益の拡大及び業務執行の効率化などを図り、施行者利益の確保と社会還元の最大化を進める。

◆ 映像の管理

各競輪場のレース映像の権利関係等を一元的に管理・運用する仕組みを構築し、映像の付加価値化を高めるとともに、広報など多様な分野での映像の活用を図り、競輪の魅力を一層高める。

◆ 新規顧客の獲得

20歳代から40歳代の若者層をターゲットとして、競輪の「スポーツ性」や「メジャー性」などをインターネットはじめ様々なメディアを駆使して発信し、新規顧客を獲得する。

◆ 新型コロナウイルス感染症への対応

競輪事業の安心・安全を確保するため、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を的確に講じるとともに、コロナ禍の下で行った令和3年度の開催枠組を検証の上、開催枠組全体の在り方を検討し、売上・収益の増加を図る。

◆ ギャンブル依存症対策の推進

政府が定める「ギャンブル等依存症対策推進基本計画」（令和4年3月更新予定）を踏まえた効果的な施策を検討・実施し、ギャンブル等依存症対策の着実な取り組みを進める。